愛ありて

150
2022.11.7

川崎医福大ニュース

企画特集

「私のスマホ活用術」…P6

- 学園祭…P2
- 研究室訪問／医療福祉経営学科…P4
- 私たちの部・サークル紹介…P7
- 社会連携センターだより…P8
- 就職活動コーナー…P9
- キャンパスインフォメーション…P10

学園祭（2022.10.15・16）

川崎医療福祉大学　広報編集委員会

学園祭

KAWASAKI SCHOOL FESTIVAL

<2022年学園祭実行委員>

実行委員長：理学療法学科 3年　松本（まつもと） 千駿（ちはや）
書記：保健看護学科 2年　青野（あおの） 愛弓（あゆみ）
会計：臨床検査学科 2年　村上（むらかみ） あゆみ
広報：医療福祉学科 2年　澤山（さわやま） 天音（あまね）
総務：臨床検査学科 2年　今松（いまつ） 和香（のどか）

実行委員長

理学療法学科　3年　松本（まつもと） 千駿（ちはや）

3年ぶりに対面型となった川崎学園祭。今年度、新たな試みもあり、生まれ変わった川崎学園祭をお見せできたのではないかと思っています。

学生、教職員のみの参加の中、前夜祭、模擬店、仮装パフォーマンス、謎解き、クイズ大会、部・サークル発表など、2,000名以上の方にご来場いただき、活気が至る所で感じられ、たくさんの笑顔を見せていただきました。

来年度はどうか更にレベルアップした学園祭になりますように、また地域の方々にもお越しいただき、より多くの笑顔が見られるように願っています。ありがとうございました。

副実行委員長

子ども医療福祉学科　2年　小川（おがわ） 真央（まお）

私は実行委員会の副委員長として準備を進めてきました。紆余曲折（うよきょくせつ）ありましたが、メンバーと共に過ごし、励まし合いながら全員の力で開催できました。

当日は案内やマスク着用の注意喚起、トラブル対応を主に行いました。コロナ禍で行われる学園祭です。クラスターが起こることなく、みんなが楽しく過ごせるよう努めました。

全員でチームワークを発揮して、心に残る学園祭になったと思います。関わった人すべてに感謝を伝えたいです。

臨床心理学科　2年　中井（なかい） 玲那（れな）

学園祭では、2日間とも所属サークル（アクリエイト研究会）にて活動を行っていました。主にハンドメイド品の販売とその宣伝ですが、アニメやゲームのキャラクターにふんして販売と宣伝に当たっていました。いわゆるコスプレをしていたわけですが、物珍しかったのか多くの方にお声をかけていただき、うれしい限りでした。準備等大変なことはありましたが、無事に2日間を終えることができてほっとしています。来年は外部の方もお招きして開催できるよう願うばかりです。

2022 学園祭 統一テーマ「永劫回帰～今、この時を～」

作業療法学科　2年　太田（おおた）　愛乃（あいな）

この度、私は10月15日に行われた学園祭実行委員会主催の4大学学部学科対抗クイズ大会に参加しました。

川﨑祐宣記念講堂にて各学科2名ずつ出場し、先生方も参加される学園祭の大きなイベントでした。

○×問題や川崎医療福祉大学に関係する筆記問題、イントロ問題など多種多様な問題が出題されました。問題は会場だけでなく川崎学園祭のInstagramにも掲載されており、実際クイズに代表として参加した人も、していない人も川崎学園のことをもっと楽しくよく知ることができる良い機会になりました。

優勝はできませんでしたが初めての学園祭は楽しい時間を過ごすことができました。

健康体育学科　2年　初田（はつだ）　晃勢（こうせい）

学園祭の謎解きクイズイベントに頭を柔らかくして挑みました。友達と協力して何とかクリアすることができました。難しかったですが、その分完成度が高く、とても楽しかったです。このイベントを企画していた学生はもちろんですが、学長先生までもがノリノリだったところが最高でした。またスマホを使って謎を解いていくのはとても斬新で、今まで経験してきた中学校や高校の文化祭とは全く違った楽しみ方ができました。

櫃石ゼミ

現在、学部3年生6名、学部4年生6名、大学院2年生1名が所属している。
ゼミ開設1年目。

3年生

4年生

櫃石秀信（ひついしひでのぶ）先生のプロフィール

倉敷市の出身、児島高校（現：倉敷鷲羽（わしゅう）高校）を卒業し、岡山大学工学部電気工学科に進学、大学院を修了後、㈱神戸製鋼所に就職し、公共システムのシステムエンジニア・プロジェクトマネージャーとして従事した後、神鋼加古川病院に異動し、病院経営に関与することに。近隣の加古川市民病院と統合の話が持ち上がり、地方独立行政法人加古川市民病院機構の設立に関与。その後、神鋼記念病院（神戸市）、松波総合病院（岐阜県）で病院経営に従事。昨年、本学に赴任。副学科長、教務委員、就職委員として活動し、今年度から学科長に。趣味はライブ観戦（フェスにも参戦）とクラフトビール飲み歩き。ラグビー（コベルコ神戸スティーラーズ）、サッカー（J1ヴィッセル神戸）を中心にスポーツ観戦も好きで、最近はJ2ファジアーノ岡山の応援をかねてビール片手に試合観戦を楽しんでいます。

担当科目

- 学　部：経営組織論、経営管理論、経営戦略論、リスクマネジメント論、経営情報システム論、病院情報システム演習、社会システム分析演習等
- 大学院：組織工学特論、経営工学特論等

櫃石ゼミの特徴

- キャッチコピー：医療の現場に必要な課題解決力をBI（Business Intelligence）ツール等を駆使したデータ分析・考察により身につける

病院は、医療スタッフ（医師、看護師等）が中心となって患者さんのために診療を行う組織であるということは、まぎれもない事実ですが、その医療スタッフが働きやすい環境づくりを行う存在としてのマネジメントスタッフなしには病院経営を順調に継続していくことは困難です。

取材協力：◆3年生　池田 優真さん、片山 幹太さん、河上 洸希さん、佐藤 匠さん、棗田 竜司さん、山﨑 虹太さん
◆4年生　一柳 美月さん、谷本 一樹さん、吉田 伊織さん　◆修士課程2年生　竹原 一希さん

また、将来予測が困難なVUCA※の時代、新しい課題が発見できる人材が求められています。患者さんも病院のスタッフも、みんなが幸せになれるような、そんな病院経営・福祉施設経営のできる人材になっていただきたいと考えています。約20年間、医療機関で病院経営にかかわってきた経験をもとに、医療機関の現場で求められる人材に必要な知識、技術について解説するとともに卒業研究を通じて、それらを習得することを目指しています。

Tableau（BIツール）やjSTAT MAP（地理情報ツール）等を用いたデータ分析を中心に実際に病院で活用されている分析内容や企画提案例を示しながら、研究を進めています。

※VUCA…Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとった造語。社会あるいはビジネスにおいて、不確実性が高く将来の予測が困難な状況であることを示す造語。

研究テーマ

「災害拠点病院のBCP（事業継続計画）の策定」、「公立・公的病院の残業時間分析」、「民間病院と公立病院の統合再編における成功要因」、「病院の統廃合の必要性」「診療報酬改定による医業収益の変化」「病院における医師等の働き方改革の推進」など、実際の医療機関の現場で活用・応用できる題材を研究テーマとしています。

Q&A 学生への質問

櫃石ゼミを選んだ理由

学部3年生　池田 優真さん

病院経営に必要な情報を知るということやデータの分析、データの取得方法、分析手法を身に付けられるという点です。病院の経営部門に携わりたいという私の目標をかなえるためにはとても重要であり、このゼミでしか夢を実現することができないと実感し、選びました。

学部3年生　山﨑 虹太さん

病院経営を更に深く学び分析などの手法やスキルを身につけるべきだと感じました。新型コロナウイルス感染症の流行によって、診療報酬や様々な機器及び資材が導入され、病院がコロナ流行前とどのように変わったか、病院経営や職員の労働時間に変化はあったかなどに興味を持ち、このゼミで生かせるのではと思い選びました。

大学院進学を決めた理由

修士課程2年生　竹原 一希さん

大学3、4年生のとき、ゼミの先生のもとで研究を進めていく中で、医療業界について更に深掘りし、AIやBIをはじめとする様々なツールを用いた、経営の最先端をいくようなスキルを身につけたい、という意欲が湧いてきました。そこで、学部では得ることのできないような医療や福祉、経営における知識やスキル、経験を、大学院では実践的に網羅的に学べるということだったので、進学を決めました。

企画特集　私のスマホ活用術

私のスマホ活用術

臨床心理学科 助教　則武（のりたけ） 良英（よしひで）

スマホ活用術の中でも、今回は「臨床心理学科のSNS活用術」を御紹介します。現在、臨床心理学科では、ホームページとInstagramの2つを活用しています。ホームページでは、学科のイベントから教員の自己紹介まで、様々なテーマでブログ記事を作成しています。こちらを読んでいただくと、臨床心理学科の表側から裏側まで、“たっぷりと”御覧いただくことができます。個人的なイチオシ記事は、教員執筆の「今熱中していること」シリーズで、教員がマイブームを紹介していて、個性的なマイブームの数々に私は驚きました。Instagramでは、臨床心理学科のイベントの最中にリアルタイムで投稿をするので、正に臨床心理学科の“今”を御覧いただくことができます。この2次元コードを読み込んでいただくと、臨床心理学科の投稿を御覧いただくことができます。「シュールで面白い」と学生からの声をいただいています。これからも、2つのSNSを使用して、面白い臨床心理学科を発信していきます。

PSYCHO_PR2021

iPhoneを用いた顕微鏡ライブ画像のインターネット配信：テレヘマトロジーの構築と実践

臨床検査学科 特任教授　通山（とおやま） 薫（かおる）

新型コロナウイルス感染症は社会活動や人的交流に大きな制約をもたらしました。私は血液検査診断を本務として全国レベルでの顕微鏡観察会や中央診断に関わってきたのですが、コロナ禍のために集まれなくなりました。一方、Zoom等の遠隔会議システムは瞬く間に普及しました。

初の緊急事態宣言が出された2020年初夏の頃、マイクロネット社のi-NTER LENSという、顕微鏡にiPhoneを接続して撮像できる特殊レンズの広告が眼に留まり、面白半分に購入したところ鮮明な顕微鏡画像を得ることができました。次に思いついたのが、この顕微鏡ライブ画像をZoomの画面共有に反映させ、インターネット経由で学外に配信するというものです（写真）。目の肥えた全国の血液マニアの方々にテスト配信したところ大好評を博し、リモートの顕微鏡観察・勉強会を立ち上げました。会はほぼ毎月定例で通算16回を数え、視聴者数は全国から100名ほどになります。厚労省班会議の中央診断にもこの方式を活用しています。テレヘマトロジー（遠隔血液学）の実践です。

矢印に沿って、i-NTER LENSを介して顕微鏡にiPhoneを接続し、iVCam（iPhoneをウェブカメラにするソフト）を起動してPCに画像を転送し、Zoomへ反映させます。

コロナ禍は未曽有の災厄ですが、その過程で創意工夫により、従来なら予想もしなかった飛躍的進歩を自ら構築できました。コロナ禍におけるICT発展の産物の1例として、今後コロナ禍が去っても、新たな方式は根付いていくものと期待しております。

私のスマホ活用術

医療秘書学科 教授　田中（たなか） 伸代（のぶよ）

私がスマートフォンを使うようになったのは、大病をして入院した後のことです。それまでは少しくらい荷物が重くなっても、大きな手帳やノートパソコンなどを持ち運んでいましたが、それに耐えられなくなってスマートフォンの導入を決めました。

それ以来、パソコンと連動させたスケジュール管理やファイル管理を行っています。年齢を重ねたこともあり、リマインダーやTo Doリストの設定は欠かせません。仕事だけではなく、家族のスケジュール等も一括で管理できるのが助かります。

健康管理の面でも情報を一括管理することができるようになりました。自分の情報をいつも持っているので、病院にかかるときにも便利です。Apple Watchと組み合わせて、自分の状態を客観的に確認したり、運動を促すという役目もしてもらっています。

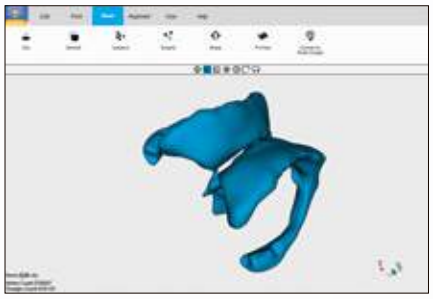
そして老眼が進んできた自分にとっては、文字や画像を拡大して見ることができるという機能も重要です。

スマートフォンに頼りすぎでは、と思うこともありますが、なければ生活に支障を来す状態になっている今日この頃です。

意外と手軽な3Dスキャナー

医療福祉デザイン学科 助教　山形（やまがた） 千星子（ちほこ）

医療福祉デザイン学科では、スマートフォンを様々なことに活用します。なかでも最近、使用頻度が高くなっているのが3Dスキャナーとしての活用です。建物や内装をスキャンし、シミュレーションをしたりVR空間に使用するオブジェクトにしたり、大きな医療機器や2Dでは表現しづらい形状などをスキャンし、縮小して3Dプリンターで出力するなど、用途は様々です。スキャンアプリ自体はいろいろとありますが、人体と人工物の設定を分けられたり、無色と有色の認識ができたりと、昔と比較するとどれも高精度で撮影することができるようになっています。写真では3Dスキャン専用機器とスマートフォンをつなげていますが、アプリによってはスマートフォン単体でも撮影できます。点群データを得られることから、研究での活用法についても検討中です。



写真を撮ることと同じくらい気軽に3Dスキャンをとれる時代になったので、他に良い活用法がありましたら是非御教示いただけますとうれしいです。

私たちの部・サークル紹介

写　真　部

臨床心理学科 3年　木暮（きくれ） 将平（しょうへい）

こんにちは。写真部です。私たちの部活は「ラフ」を売りに活動しています。現在は男女合わせて60人前後所属しております。主な活動の内容は、月に1～2回程度岡山県を中心に撮影会に行っています。撮影会は、シーズンによって様々なところに行っています。桜のきれいな春には酒津公園に行ったり、夏には船に乗って真鍋島に撮影旅行に行ったりしております。

活動への参加の有無は自由で、都合が合う人同士が行くといった感じです。また、時折、定例会などを行って、トランプをしたり、撮影会で行きたいところなどを相談しあったりしています。

写真部に入るにはカメラが必要と思う方もいるかもしれませんが、今では携帯のカメラ機能もなかなかなものなので、カメラを持っていない方でも、大歓迎です!!

もちろん、カメラを持っている人や興味のある人も歓迎です！カメラに詳しい先輩方も多くいますので、教えてもらえます!!

水　泳　部

健康体育学科 2年　平松（ひらまつ） 世凪（せな）

こんにちは。水泳部です。水泳部は毎週月曜日･水曜日の17時30分～19時、金曜日の14時40分～16時40分の週3回練習をしています。

水泳部の部員は、一人一人が明確な目標を持ち、その目標を達成するために練習に励んでいます。チームとしての目標は、一人でも多くの部員がインカレに出場することです。しかし！楽しみながら自分のペースで泳いでいる部員もたくさんいます。水泳部では、楽しむことを一番に考えて練習しているので、もちろん初心者の方も大歓迎です。泳げなくても部員が丁寧に教えてくれます！また、マネージャーも大募集しています。少しでも泳ぎたい、水泳に興味があるという方は気軽に川崎学園温水プールに来てください！水泳部一同楽しみに待っております！

令和4年度 第2回公開講座を開催

本学では、今年度の年間テーマを「豊かな暮らしのための医療福祉～かわる・つながる・ささえあう～」と定め、計3回の公開講座を予定しております。第2回は「世界に一つだけのピクトさんをつくろう」というテーマで、7月30日㈯にワークショップ形式で開催しました。

今回は医療福祉デザイン学科　青木陸祐教授と中村俊介助教が担当し、事前にお申込みをいただいた32名が参加されました。

避難情報などを伝えるピクトグラムを通して、さまざまな人に配慮したユニバーサルデザインについて学んだほか、パワーポイントでオリジナルのピクトグラムを作成し、それをもとに缶バッジ製作にもチャレンジしました。

参加者は「ユニバーサルデザインの重要性について改めて学ぶことができた」「ピクトさんを作ったりするのが楽しかった」「親子で楽しむことができた」など大変楽しまれた様子でした。

次回は11月26日㈯に第3回公開講座「インターネットとの上手な付き合い方」を予定しております。是非、御参加ください。

就職活動コーナー

就職が内定している4年生の方々に、
就職活動についてお聞きしました。

質問項目	医療福祉学科 友保（ともやす） 佑陽（ゆうひ）	診療放射線技術学科 彈正原（だんじょうばら） 茉衣（まい）	医療情報学科 福崎（ふくざき） 沙弥（さや）
内定が出て、就職することを決めた業種・地域・職種を教えてください。	病院 倉敷市 医療ソーシャルワーカー(MSW)	病院 香川県 診療放射線技師	病院 岡山県倉敷市 事務
その業種・職種を選んだ理由を教えてください。 どのような自己分析をして、その業種・職種を選んだのですか。	病院に勤務する親から、多くの職種と協働して、患者の療養に関する問題を解決するMSWという職業を聞きました。話を聞くことや人との関係づくりが得意な自分の力を発揮できる職業だと思いました。	病気の診断・治療を行う上でのエビデンスとなる、血管や臓器を映したCTやMRIの画像・動画に興味を持ったことがきっかけでこの職業を目指すようになりました。	3年次の病院実習で、実際に現場で働かせていただいたときに、医療従事者の縁の下の力持ち的な存在に魅力を感じて志望しました。
活動のタイムスケジュールを教えてください。	2年 就職先の候補を調べる 3年 春……就職ガイダンス・マイナビ登録 3月……複数の病院見学 4年 6月……希望就職先の決定、エントリーシート添削、面接内容の確認 7月……病院見学、1次試験 7月下旬…2次試験 8月下旬…内定	3年 9月……国家試験対策 4年 4月上旬…受験先の決定 4月中旬(~5月) 就職ガイダンス・マイナビ講座 4月下旬…履歴書作成 5月……専門試験対策 6月上旬…病院見学(Zoom) 6月中旬…SPI・小論文対策・面接練習 6月下旬…2次試験・内定	3年 2～3月 就職希望の分野決め、説明会に参加、企業にエントリーシート提出 4年 4月……病院の説明会参加 5月上旬…病院にエントリーシート等提出 5月下旬…1次面接(個別) 6月下旬…最終面接(集団) 内定
活動中で特につらかったときはどんなときでしたか。また、それをどのように乗り越えてきましたか。	エントリーシートの添削を受けた際、すべての文章が修正されて落ち込みましたが、学科の複数の教員に相談をして完成させることができました。	採用人数が少ない職種のため、内定を頂くことができる病院が本当に自分にあるのか不安でいっぱいでした。学科の先生や友達、家族など、多くの方に相談をして、アドバイスを頂きながら乗り越えることができました。	卒業研究と並行して就職活動をしていたので、とても忙しかったです。日程管理が大切になってくるため、私はスケジュール帳で日程を管理して無理なく進めることができました。
就職活動に向けてどのような準備をしましたか。 また実際、特に役に立ったことは何ですか。	教員から求人情報を収集しました。また、卒論や国家試験対策との同時並行の見通しが立たない不安を相談しました。 4～5か所の病院見学をしたことで、自分に適した病院を見つけることができました。	専門試験対策だけでなく、小論文対策や就職支援センターにおける面接練習に特に時間を割きました。また、昨年の先輩が書いてくださっていた受験報告書が対策準備をする際に大変参考になりました。	学科長の就職対策講座に参加したり、エントリーシート作成支援や面接対策をゼミの先生にお願いしたりして準備しました。
後輩の役に立つような情報やこれから就職活動をする後輩の学生さんへのメッセージをお願いします。	早い時期からの就職セミナーの参加やマイナビ登録等の準備は有効でした。 また、「不合格」の通知が届いても、気持ちを切り替えて次のエントリーの準備に移るためには、友人との支え合いがとても助けになりました。	担任や学科の先生、就職支援センターの方々の御指導やアドバイスがあったからこそ内定を頂くことができたと思います。自分が希望する病院の求人がいつ出てもいいように、早め早めの準備をしていくことが大事だと思いました。	医療情報学科は就職の幅が広く、私もギリギリまで企業か医療機関で悩みました。インターンシップや3年次にある病院実習などで経験して、自分がやりたいことができるところへ後悔しない選択をしてください。大変だと思いますが、人に頼るのも一つの手なので、無理せず頑張ってください。応援しています！

令和4年度FD・SD研修会（教職員の資質向上に関する研修会）

6月28日（火）、川﨑祐宣記念講堂において、FD・SD研修会（教職員の資質向上に関する研修会）を開催しました。この研修会は、教員と職員の相互理解を深め、協力体制をより強くしていくことを目的とし、全教職員を対象に開催しています。

今年度1回目の内容は以下のとおりです。

― 学生のためのキャリア支援 ―

- **「医療福祉系求人動向について」**
  株式会社マイナビ メディカル事業本部 HRソリューション統括本部 企画広報統括部 統括部長　末吉 夢大
- **「本学の就職支援について」**就職課・課長　田中 尚
- **「個別相談について」**就職課　小原 裕美

研修会には、これからの時代に即したキャリア支援について学ぼうと、多数の教職員が参加しました。講演では、求人数・就職率などや就職支援センターの業務内容の紹介、履歴書・面接指導の実際などについて具体的にお話しいただきました。

研修会後のアンケートでは、「何度も面接を重ね、地道な支援を重ねられていることにより、本学の高い就職率が維持されていることを知り、感謝しております」「教員は学生視点に立って話を聴き、学生の内面を引き出す力が必要と理解した」などの感想が寄せられ、非常に有意義な研修会となりました。

令和4年度FD・SD研修会（教職員の資質向上に関する研修会）

7月14日（木）、川﨑祐宣記念講堂において、FD・SD研修会（教職員の資質向上に関する研修会）を開催しました。この研修会は、教員と職員の相互理解を深め、協力体制をより強くしていくことを目的とし、全教職員を対象に開催しています。

今年度2回目の内容は以下のとおりです。

- **「高校生の興味関心を引く情報発信（SNS）の工夫について」**
  言語聴覚療法学科 准教授　池野 雅裕／健康体育学科 助教　山形 高司

研修会には、これからの時代に即した高校生への情報発信の工夫について学ぼうと、多数の教職員が参加しました。講演では、実際に行っているSNS発信の実例やインサイトの分析（フォロワーの年齢、男女比、性別、地域などのデータやそれぞれの投稿に対するユーザーの反応の分析）など具体的にお話しいただきました。

研修会後のアンケートでは、「高校生を意識しつつも、在学生のモチベーション向上にも効果があると感じました。在学生のイキイキとした姿を見れば、高校生の期待も高まると思います」「SNSが高校生に情報発信するための有用なツールとなることを再認識しました。特に閲覧情報などを分析し、対応を練るプロセスは、非常に参考になりました」などの感想が寄せられました。在学生を巻き込んだ情報発信など、学科独自の取組を知る良い機会となりました。

令和4年度FD・SD研修会（ハラスメント防止に向けての研修会）

例年ハラスメント防止を目的とし、全教職員を対象にFD・SD研修会（ハラスメント防止に向けての研修会）を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年と同様に、9月12日（月）から10月31日（月）の期間でweb視聴にて研修会を実施いたしました。内容については、以下のとおりです。

- **講演1「令和3年度 ハラスメント防止啓発活動に関する学生の理解度に関するアンケート調査結果報告」**
  医療福祉学科 准教授　李 永喜（ハラスメント防止委員会委員）
- **講演2「学内相談員によるハラスメント相談の説明と講話」**
  ①「本学におけるハラスメント相談の方法と特徴」健康体育学科 教授　難波 知子（ハラスメント相談員）
  ②「キャンパスハラスメント～アンケートに基づいた事例紹介（他大学）～」臨床心理学科 教授　谷原 弘之（ハラスメント相談員）

李准教授から、4年次生を対象に実施された「本学で実施しているハラスメント防止活動が学生にどのくらい理解されているか」の調査結果と、2018年度に実施された同調査との比較が報告されました。また、ハラスメントの予防に関する学生からの提案や意見が紹介されました。

その後、難波教授から、本学におけるハラスメント相談の体制とハラスメント相談の方法が説明され、2015年から2021年の7年間におけるハラスメント相談の件数などが報告されました。

続いて、谷原教授から、キャンパスハラスメントの定義が説明され、他大学におけるハラスメント事例について、報道や裁判例を交えて報告されました。また、教職員用のパワハラチェックリストが紹介され、パワハラに該当する理由が解説されました。

視聴後のアンケートでは、「ハラスメントに関する学生からの生の声を理解することができました」「本学におけるハラスメントの規則や相談プロセス、ハラスメントに当たることの具体例紹介により、ハラスメントについて理解が深まりました」「相談員の先生方のお話を聞いて、どういう言動がハラスメントになるか、今一度、確認することができました」などの意見が寄せられ、非常に有意義な研修会となりました。

今後もハラスメント防止への意識を継続するために、定期的に研修会を開催していきたいと思います。

オープンキャンパス2022

ご協力ありがとうございました！

今年度のオープンキャンパスも6月から8月にかけて3回開催し、うち2回は3校合同（医療短期大学、リハビリテーション学院と共同開催）で行いました。新型コロナウイルス感染症が流行してから実施していなかった川﨑祐宣記念講堂での開会行事や入試説明会、学食体験も復活し、活気のあるオープンキャンパスになりました。開会行事である「1分間 PR」では、代表の学生が各学科の特徴やオープンキャンパスで実施するイベント内容などを短時間で紹介しました。その後、望月精一入試部長・福島康弘入試副部長による「入試説明会」、学科による「ミニ講義・体験学習」や「入試・編入学等相談コーナー」などのイベントに加え、医療短期大学・リハビリテーション学院の施設見学も行われました。「学食体験」では、手指消毒と黙食を徹底した上で、一足先に大学生活の雰囲気を味わっていただくことができました。また、昨年度と同様に2023年度入試 学校推薦型選抜前期＜有資格＞の出願希望者に向けて、「有資格認定証」の交付（**対象11学科**※）も行われました。

2023年度入試の受験生を対象とした来場型オープンキャンパスは、これで終了となりますが、WEB オープンキャンパスサイトは随時更新していきます。次回の来場型オープンキャンパス開催予定の3月は、2024年度入試を目指す高校生の皆さんが中心となります。多くの方に満足していただけるよう、今後も魅力あふれるオープンキャンパスの実施を目指していきます。今後ともご協力をお願いします。

※対象学科

川崎医療福祉大学	医療福祉学科、子ども医療福祉学科、言語聴覚療法学科、視能療法学科、臨床栄養学科、健康体育学科、医療福祉経営学科、医療情報学科、医療秘書学科、医療福祉デザイン学科
川崎医療短期大学	医療介護福祉学科

キャンパスインフォメーション

大学行事

11月12日　学校推薦型選抜前期
11月24日　学部)秋学期代替授業日(水曜日分)
　　大学院)秋学期代替授業日(水曜日分)
12月13日　学校推薦型選抜後期 A日程
12月14日　学校推薦型選抜後期 B日程
12月16日　学部)秋学期代替授業日(月曜日分)
　　大学院)秋学期代替授業日(月曜日分)
12月27日　学部)冬季休業(～1/4)
　　大学院)冬季休業(～1/4)
12月29日　年末年始休暇(～1/3)
1月5日　学部)授業開始
　　大学院)授業開始
1月27日　学部)秋学期授業終了
2月1日　一般選抜前期 A日程
2月2日　一般選抜前期 B日程
2月3日　学部)秋学期定期試験(～16)

学会等開催〔予告〕

11月18日　川崎医療福祉学会研究集会
　　自閉症特別講座(Web開催)
11月25日　自閉症特別講座(Web開催)
12月2日　自閉症特別講座(Web開催)
12月9日　自閉症特別講座(Web開催)
12月16日　自閉症特別講座(Web開催)
1月13日　自閉症特別講座(Web開催)
1月20日　自閉症特別講座(Web開催)
1月23日　自閉症特別講座(Web開催)
1月27日　自閉症特別講座修了式

新任教員の紹介

「よろしくお願いします」

保健看護学科 助教　小野(おの) 安佳里(あかり)

このたび、保健看護学科の助教として着任いたしました。これまでの経験を生かしつつ、新たな気持ちで学生の皆さんと共に学び、考えながら成長していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「御挨拶」

保健看護学科 助教　佐藤(さとう) 久恵(ひさえ)

この度、保健看護学科・大学院助教に着任いたしました。助産師として医療現場で培ってきた経験を教育現場に生かし、学生のみなさんと共に成長していけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

「よろしくお願いいたします」

臨床工学科 講師　安藤(あんどう) 誠(まこと)

9月より、臨床工学科に着任しました。これまで27年間にわたり、倉敷中央病院にて臨床業務(主に血液透析)に携わってきました。臨床での経験を少しでも学生の皆さんにお伝えできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「チャレンジ!チャレンジ!」

健康体育学科 講師　西田(にしだ) 裕明(ひろあき)

10月1日より健康体育学科に着任いたしました。前職は兵庫県の特別支援学校で17年間勤務しておりました。特別支援教育の魅力や現場で求められる力を伝え、共生社会の実現に貢献できる人材の育成に励みたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館だより

秋学期が始まり、図書館の利用者も増えてきました。図書館では引き続き飛沫(ひまつ)防止パネルの設置や座席の利用制限、利用後は閲覧席・マウスなどの消毒をお願いしています。飲食は禁止です。ご協力をお願いします。

図書館企画の一つ、「図書館ベストリーダー賞」は図書館蔵書を積極的に利用した学部学生を表彰するもので、対象期間は5/1～12月末まで、上位5位には副賞として図書カードが贈呈されます。選出までまだ間に合いますので、勉学に必要な図書や興味ある図書を大いに借りて利用してください。

今年は3年ぶりに図書館学生選書ツアーを開催し、学生のみなさんに書店で直接、図書館蔵書となる図書を選書していただきました。同時開催の図書館学生Web選書での選書図書と一緒に、受入後図書館内にコーナーを設けて展示します。どんな本が選書されたか、どうぞお楽しみに。来年はぜひご参加ください。

また医療福祉大学では、約1,200タイトルのeBookをコンピュータ実習室や図書館のパソコン、学内WiFi経由でノートパソコンやスマートフォンからも利用できます。予め学内から設定を行うことにより、自宅や実習先など学外からも利用可能です。eBookの利用方法、リモートアクセスの設定方法は図書館ホームページで案内していますので、利用規約を守って正しくご利用ください。ご不明な点は遠慮なく、図書館へお尋ねください。

勉学の秋、図書館を有効活用し、知識を深めてみてはいかがですか。

川崎医療福祉大学　〒701-0193 岡山県倉敷市松島288　TEL.086-462-1111㈹　URL https://w.kawasaki-m.ac.jp/